

新型インフルエンザ・ニュースレター@青森県

平成 26 年 2 月 10 日発行 (第 4 巻第 2 号)
10th February 2014 Volume 4 Issue 2

こんにちは、青森県保健衛生課です。

多くの皆様にご覧いただき、誠にありがとうございます
ございます。

今後も引き続き、『新型インフルエンザ・ニュースレター@青森県』を平時での新型インフルエンザ対策のほか、通常の季節性インフルエンザ対策にもご活用ください。

Inside This Issue

1. 鳥インフルエンザのヒトへの感染
2. 県内の一部地域でインフルエンザ警報継続
3. トピックス

1. 鳥インフルエンザのヒトへの感染

Human infection with avian influenza

1-1 鳥インフルエンザ A (H7N9)

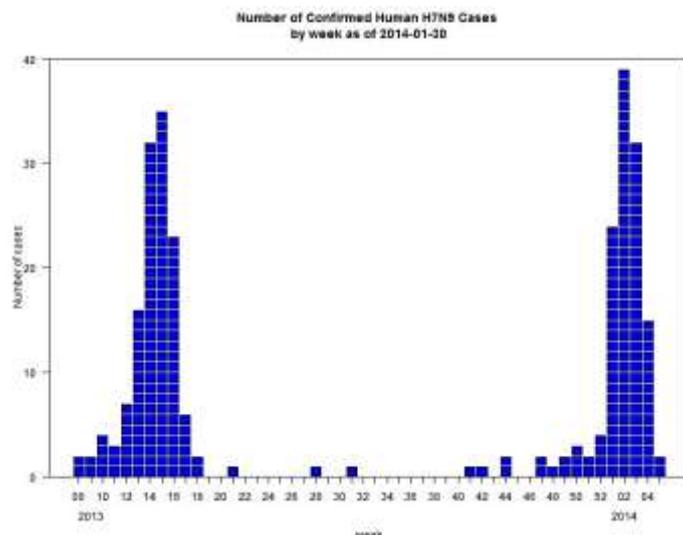
WHO は、1 月 31 日、鳥インフルエンザ A (H7N9) に関するリスク評価を発表しました。その概要は、次のとおりです。

注) 2013 年 3 月 31 日以降 2014 年 2 月 7 日までに、感染患者 324 人 (うち死亡者 69 人) が報告されています。

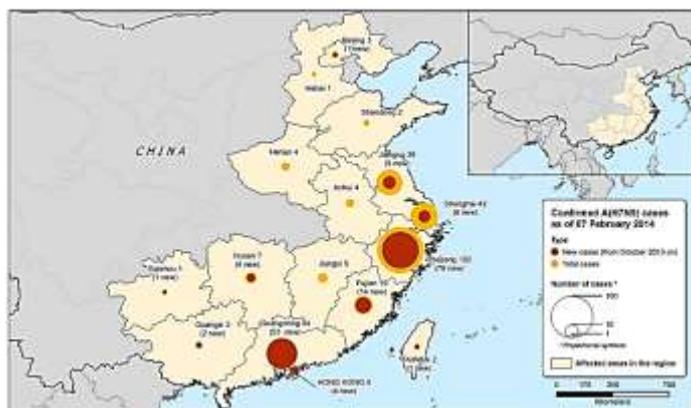
患者の発生状況

2013 年 3 月 31 日、中国政府は、鳥インフルエンザ A (H7N9) ウイルスへの感染が確認された 3 人の患者の発生を公表しました。感染患者は、同年 3 月から 5 月までの第 1 回流行では 133 人で、その後同年 7・8 月には 2 人、同年 10 月以降の第 2 回流行では気温の低下に伴って感染患者が増加しています。(注: 第 2 回流行では 1 月 31 日までに 142 人が報告されています。)

- 性別: (男性、女性の両方で患者が発生しているが、) 患者総数の男性に占める割合は 67%。
- 年齢: (年齢幅は広範囲であるが、) 患者の年齢の中間値 58 歳、死亡者の年齢の中間値 66 歳。
- 致死率: 22% (2014 年 1 月 28 日現在)
- 臨床像: 軽症の患者も報告されているが、主に急速に進行する重症肺炎に特徴的。重症患者は基礎疾患を持つ高齢者で発生しがち。



(グラフ: 発症週ごとの感染患者数 [WHO 2014.1.30](#))



(地図: 感染患者の地理的な状況 [ECDC 2014.2.7](#))

ウイルスの特徴

- ウイルスの特性: 遺伝子は鳥由来であるが、細胞への結合やその体温に近い温度で増殖する能力を含む哺乳類への適応の兆候が見られる
- 抗インフルエンザウイルス薬への感受性: オセルタミビル、ザナミビルに感受性あり (アマンダジン、リマンダジンには耐性)

ヒトでの感染源

- ほとんどの感染患者は感染鳥や感染鳥がいるなどの環境、特に生きた動物を扱う市場での曝露歴がある

ヒト-ヒト感染の証拠

- 現在までの情報では、「**持続的なヒト-ヒト感染の証拠はない**」としています。
- ヒト-ヒト感染の可能性のある数例の世帯員間

のクラスター（感染集団）が報告されている
（WHO「鳥インフルエンザ A（H7N9）ウイルス」
http://www.who.int/influenza/human_animal_interface/influenza_h7n9/en/index.html）

（参考：過去の H7 鳥インフルエンザのヒトへの感染）

年	亜型	国	状況
2012	H7N3	メキシコ	3 人の軽症患者
2007	H7N2	英国	4 例の患者
2006	H7N3	英国	1 例の患者
2004	H7N3	カナダ	2 例の患者
2003	H7N7	オランダ	89 例の軽症患者、 1 例の死亡
	H7N3	米国	1 例の患者
2002	H7N2	米国	1 例の患者
1996	H7N7	英国	1 例の患者

1-2 鳥インフルエンザ A（H5N1）

WHO は、2014 年 1 月 24 日現在の鳥インフルエンザ A（H5N1）に関するリスク評価を発表しました。その概要は、次のとおりです。

患者の発生状況

2003 年から 2014 年 1 月 24 日までに、16 カ国から 650 人の感染患者が報告され、このうち 386 人が死亡しています。

前回（2013 年 12 月 20 日）のリスク評価以降では、2 人の新たな患者が発生しています。

公衆衛生上のリスク（2014 年 1 月 24 日現在）

感染患者の散発的な発生やクラスターの発生は起こりうるが、地域感染のリスクは低い

注）2014 年 1 月 24 日以降 2014 年 2 月 10 日までに、ベトナム、中国及びカンボジアから、それぞれ 1 人の感染患者の報告があり、その結果、16 カ国から 653 人の感染患者（うち死亡者 387 人）となっています。

1-3 その他の鳥インフルエンザのヒトへの感染

鳥インフルエンザ A（H10N8）のヒトへの感染 － 2 例目の発生 －

中国保健当局は、1 月 27 日、2 例目の鳥インフルエンザ A（H10N8）の感染患者の発生を公表。患者は、江西省に住む 55 歳の女性で、のどの痛み、めまいを呈し、1 月 15 日に同省の病院に運ばれており、発症前に農作物市場を訪れていました。A（H10N8）ウイルスのヒトへの感染は昨年 12 月に同省の 73 歳の

女性において世界で初めて確認されています。

2. 県内の一部地域でインフルエンザ警報継続

Seasonal Influenza - Situation in Aomori

八戸、上十三保健所管内で、警報継続

2014 年第 5 週（1 月 27 日から 2 月 2 日）の定点当たり報告数は 30.66（定点数 64 ヶ所、報告数 1,962 人）となり、前週の報告数（定点当たり報告数 21.45）より増加しました。

八戸、上十三保健所管内において第 4 週に発令された警報が継続されています。

なお、県内では、東地方＋青森市保健所管内、むつ保健所管内で注意報となっています。

（インフルエンザに注意しましょう！2014 年 2 月 6 日
http://www.pref.aomori.lg.jp/welfare/health/seasonal_flu.html）

3. トピックス

Topics in Aomori

◆特定接種の登録申請について

県では、新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく特定接種の対象事業者に関する登録のうち、医療機関等からの登録申請の受付をしています。

〈特定接種の登録申請について（病院・診療所）〉

http://www.pref.aomori.lg.jp/welfare/health/shingata_tokutei1.html

〈特定接種の登録申請について（歯科診療所）〉

http://www.pref.aomori.lg.jp/welfare/health/shingata_tokutei3.html

〈特定接種の登録申請について

（薬局・訪問看護ステーション・助産所）〉

http://www.pref.aomori.lg.jp/welfare/health/shingata_tokutei2.html

発行

青森県保健衛生課

〒030-8570 青森県青森市長島 1 丁目 1 番 1 号

Phone : 017-734-9215 Fax : 017-734-8047

インフルエンザ対策ホームページ

http://www.pref.aomori.lg.jp/welfare/health/pandemic_flu_action.html